

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成27年11月19日 (2015.11.19)

【公表番号】特表2013-532806(P2013-532806A)

【公表日】平成25年8月19日 (2013.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-044

【出願番号】特願2013-521127(P2013-521127)

【国際特許分類】

F 1 6 D 66/00 (2006.01)

F 1 6 H 1/32 (2006.01)

【F I】

F 1 6 D 66/00 Z

F 1 6 H 1/32 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年9月30日 (2015.9.30)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a . センサユニット (3) と、

b . 前記センサユニット (3) と協働する伝動装置 (1 0) と、

c . 前記伝動装置 (1 0) にかみ合っている、ブレーキ摩耗に割り当てられた入力値または特性値のための中央駆動要素 (8) と、

を備えている、ディスクブレーキのブレーキ摩耗センサにおいて、

d . 前記ブレーキ摩耗センサが他の入力値または特性値のための少なくとも 1 個の追加入力部 (9) を備えていることを特徴とするブレーキ摩耗センサ。

【請求項 2】

少なくとも 1 個の前記追加入力部 (9) が前記伝動装置 (1 0) と協働していることを特徴とする請求項 1 に記載のブレーキ摩耗センサ。

【請求項 3】

少なくとも 1 個の前記追加入力部 (9) が、追加駆動装置 (2 1) を介して前記伝動装置 (1 0) に連結されていることを特徴とする請求項 2 に記載のブレーキ摩耗センサ。

【請求項 4】

前記追加駆動装置 (2 1) が、平歯車装置、ウォーム歯車装置、かさ歯車装置、連結棒、突棒またはカム装置として形成されていることを特徴とする請求項 3 に記載のブレーキ摩耗センサ。

【請求項 5】

前記伝動装置 (1 0) が遊星歯車装置であることを特徴とする請求項 2 または 3 に記載のブレーキ摩耗センサ。

【請求項 6】

前記追加駆動装置 (2 1) が前記遊星歯車装置の遊星キャリア歯車 (1 8) に連結されていることを特徴とする請求項 5 に記載のブレーキ摩耗センサ。

【請求項 7】

前記センサユニット (3) がポテンショメータを備えていることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のブレーキ摩耗センサ。

【請求項 8】

前記センサユニット(3)が誘導型および/または容量型トランスデューサを備えていることを特徴とする請求項1～6のいずれか一項に記載のブレーキ摩耗センサ。

【請求項 9】

ディスクブレーキのブレーキ摩耗センサの測定信号を、前記ブレーキ摩耗センサの少なくとも2つの異なる入力値または特性値に割り当てる方法において、

前記測定信号が、前記ディスクブレーキの異なる運転状態に依存してその都度、前記ブレーキ摩耗センサの少なくとも2つの異なる入力値または特性値の一つに割り当てられ、前記ブレーキ摩耗センサが請求項1～8のいずれか一項に記載のブレーキ摩耗センサであることを特徴とする方法。

【請求項 10】

請求項1～8のいずれか一項に記載のブレーキ摩耗センサを備えたディスクブレーキ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0014

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0014】

ディスクブレーキのブレーキ摩耗センサの測定信号を、ブレーキ摩耗センサの少なくとも2つの異なる入力値または特性値に割り当てる方法は、測定信号が、ディスクブレーキの異なる運転状態に依存してその都度、ブレーキ摩耗センサの少なくとも2つの異なる入力値または特性値の一つに割り当てられ、前記ブレーキ摩耗センサが請求項1～8のいずれか一項に記載のブレーキ摩耗センサであることを特徴とする。